

## マーケットの動き (2022年4月11日～4月15日)

先週の国内株式市場は、前週末比でTOPIXは小幅に下落した一方、日経平均株価は上昇しました。

週の前半は、米国金利の上昇や中国・上海におけるロックダウンが嫌気され下落しましたが、その後は米国金利の上昇一服や円安進展などを好感し反発しました。週末にかけては、イースター休暇で薄商いだったこともあり、米国金利が上昇に転じたことを受け軟調な推移となりました。

## 投資環境見通し (2022年4月)

## 国内株式相場はレンジ内での動きながら振れ幅の大きい展開

企業活動を取り巻く環境は、まん延防止等重点措置の解除に伴う内需の改善や、財政出動による景気支援が好材料とみられる一方、地政学リスクは設備投資を抑制する要因とみられます。企業業績については、円安が輸出企業にプラスとみられる一方、資源・エネルギー価格の上昇は企業利益率の悪化につながると考えられます。当面の国内株式相場はレンジ内での動きながら、ウクライナ情勢や欧米におけるインフレ動向に加え、企業の業績ガイダンス次第で上下に振れ幅の大きい展開を予想しています。

	4月15日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,896.31	▲0.03%	3.81%	▲6.31%	▲3.21%
日経平均株価	27,093.19	0.40%	6.89%	▲6.80%	▲8.60%

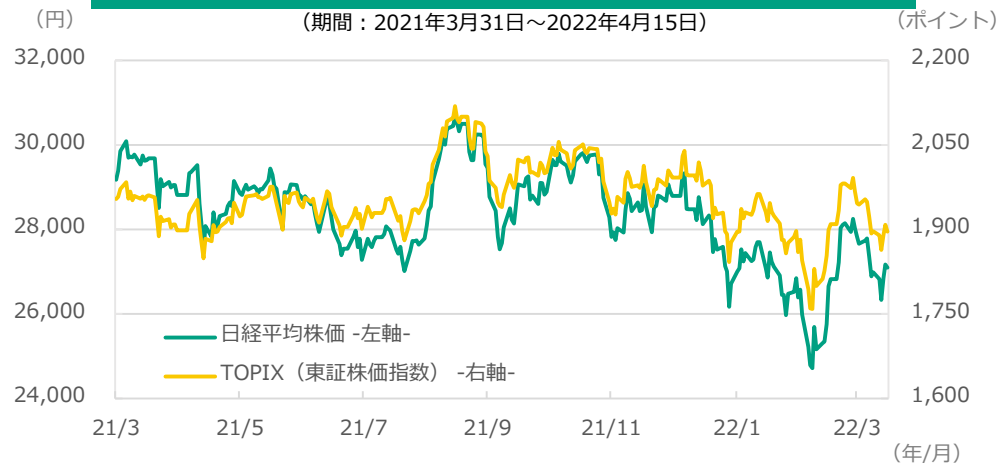
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

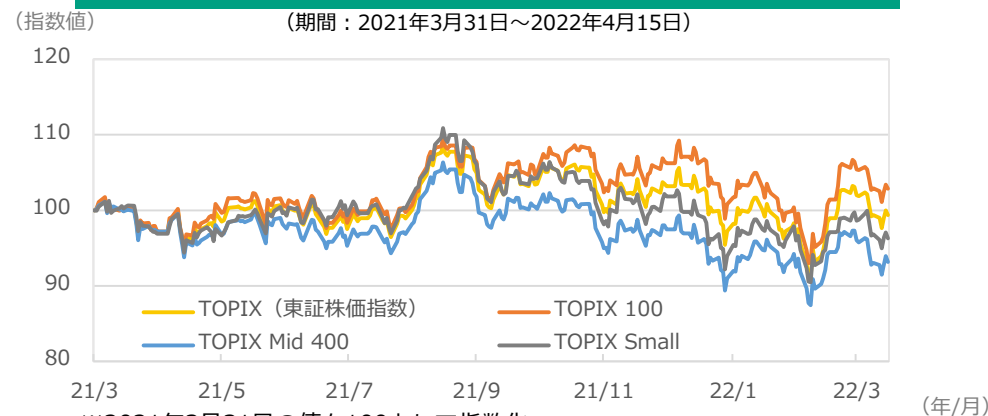
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202204\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202204_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日経平均株価、TOPIXの推移



## TOPIX規模別指数の推移



※2021年3月31日の値を100として指数化

※出所: FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成